



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

福

上場会社名 株式会社M i s u m i 上場取引所

コード番号 7441 URL <https://kk-misumi.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 慶介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役サポート本部長 (氏名) 今林 俊人 (TEL) 099-260-2213

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	44,206	△2.2	495	64.0	805	17.4	492	△27.2
2025年3月期第3四半期	45,215	0.9	302	△26.6	686	△3.2	676	65.9
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		1,593百万円(259.7%)		2025年3月期第3四半期		443百万円(△52.3%)		
		1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益				
		円 錢		円 錢				
2026年3月期第3四半期	86.53	—	—	—	—	—	—	—
2025年3月期第3四半期	118.28	—	—	—	—	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	44,235		21,267		47.4	
2025年3月期	41,626		19,992		47.3	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 20,955百万円 2025年3月期 19,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢
2026年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 錢	
通期	64,998	4.2	886	9.7	1,252	△6.7	628	△39.4	110.22	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期 3Q	6,100,503株	2025年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	412,869株	2025年3月期	395,169株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期 3Q	5,696,037株	2025年3月期 3Q	5,723,166株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当連結会計年度より百万円単位で掲記することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費は緩やかな持ち直しの動きがみられましたが、不安定な地政学的リスクを要因とした資源価格の高止まりに加え、原材料価格の高騰や円安基調の継続による物価上昇等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「既存事業の強化」と「新規事業の開拓」を両輪とした経営戦略を推進しております。「既存事業の強化」では、主力のエネルギー事業において、研修会等の社内教育充実による従業員のスキルアップを図ることで、法人顧客の新規開拓や既存顧客に対する営業活動を展開し、燃料油・L Pガスの販売強化に努めております。「新規事業の開拓」では、新業態として、フード&ビバレッジ事業において「韓弁」、ライフスタイル事業において「駿河屋」への参入を行う等、多様な消費者ニーズの変化に対応した店づくりに取組んでおります。

以上の結果、当社グループの主力事業であるエネルギー部門において、石油製品やL Pガスの販売数量が減少したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は442億6百万円（前年同四半期比2.2%減）となりましたが、収益状況の改善等により、経常利益は8億5百万円（前年同四半期比17.4%増）となりました。しかしながら、前期に保有株式の売却益が発生したことや、税金費用が増加したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億92百万円（前年同四半期比27.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、採算販売を重視した営業活動に加え、S S事業において、販促アプリを活用したユーザーの囲い込みや集客イベントの開催等により、燃料油の売上確保に努めました。また、油外商材の収益確保を目的とした研修会を実施することで、従業員のスキルアップや営業力強化を図りました。

ガス部門では、新規開拓と共に先のシェアアップによるL Pガスの販売強化を図るとともに、採算販売にも注力することで利益確保に努めました。また、補助金等を活用したリフォーム受注、住設機器販売の販促活動を強化することで収益の確保に取組んでおります。

以上の結果、石油製品やL Pガスの販売数量が減少したこと等により、売上高は328億27百万円（前年同四半期比4.3%減）となりましたが、収益状況の改善により、セグメント利益（営業利益）は5億34百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、文学賞関連商材の展開を強化するとともに、季節商材の拡販に努めました。また、S N S等を活用した情報発信や人気商材のP O P U Pイベントを行うことで、お客様への訴求を強化いたしました。

オプシアミスミでは、S N S等のデジタル広告の活用や、ワークショップ・ステージイベント等を開催することで来店動機を促すなど、集客力の強化に努めました。

以上の結果、売上高は57億10百万円（前年同四半期比0.1%増）となり、セグメント利益（営業利益）は前期に新規事業の準備費用が発生したこと等により、1億45百万円（前年同四半期比129.6%増）の大幅増加となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力業態であるK F Cにおいて、店舗イメージの刷新を目的とした店舗改装を進めるとともに、ロス削減によるフードコスト管理を徹底し、利益改善に努めました。また、2025年6月には宮崎県延岡市にK F Cイオン延岡店を新規オープンいたしました。

以上の結果、売上高は56億67百万円（前年同四半期比8.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は4億49百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて26億8百万円増加し、442億35百万円となりました。これは主に、のれん等が減少する一方、投資有価証券や有形固定資産が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて13億34百万円増加し、229億68百万円となりました。これは主に、賞与引当金が減少する一方、繰延税金負債や借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて12億74百万円増加し、212億67百万円となりました。これは主に、その他投資有価証券評価差額金や利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2025年5月13日発表から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,144	5,276
受取手形、売掛金及び契約資産	6,090	6,085
商品及び製品	3,186	3,303
仕掛品	20	9
原材料及び貯蔵品	20	26
その他	627	739
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	15,086	15,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,037	5,868
土地	11,763	12,519
その他（純額）	1,444	1,467
有形固定資産合計	19,246	19,854
無形固定資産		
のれん	1,056	927
その他	114	106
無形固定資産合計	1,170	1,033
投資その他の資産		
投資有価証券	3,980	5,690
その他	2,259	2,330
貸倒引当金	△116	△110
投資その他の資産合計	6,123	7,909
固定資産合計	26,540	28,798
資産合計	41,626	44,235
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,058	3,281
短期借入金	5,250	5,040
1年内返済予定の長期借入金	3,578	3,893
未払法人税等	225	156
賞与引当金	333	199
その他	1,360	1,754
流動負債合計	13,806	14,324
固定負債		
長期借入金	5,958	6,146
役員退職慰労引当金	213	225
その他	1,655	2,271
固定負債合計	7,827	8,643
負債合計	21,633	22,968

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690	1,690
資本剰余金	1,646	1,646
利益剰余金	15,411	15,618
自己株式	△699	△730
株主資本合計	18,048	18,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,515	2,667
退職給付に係る調整累計額	107	62
その他の包括利益累計額合計	1,623	2,729
非支配株主持分	321	311
純資産合計	19,992	21,267
負債純資産合計	41,626	44,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	45,215	44,206
売上原価	35,859	34,435
売上総利益	9,356	9,770
販売費及び一般管理費	9,054	9,274
営業利益	302	495
営業外収益		
受取利息	5	12
受取配当金	92	111
受取賃貸料	168	170
その他	255	210
営業外収益合計	521	505
営業外費用		
支払利息	72	103
賃貸費用	33	33
固定資産除却損	15	47
その他	15	10
営業外費用合計	137	195
経常利益	686	805
特別利益		
固定資産売却益	10	7
投資有価証券売却益	175	13
特別利益合計	185	20
特別損失		
固定資産売却損	0	0
減損損失	45	8
特別損失合計	45	8
税金等調整前四半期純利益	826	817
法人税、住民税及び事業税	65	231
法人税等調整額	81	98
法人税等合計	146	330
四半期純利益	679	487
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	676	492

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	679	487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△219	1,152
退職給付に係る調整額	△17	△46
その他の包括利益合計	△236	1,106
四半期包括利益	443	1,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	440	1,599
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

記載すべき事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,299	5,704	5,211	45,215	—	45,215
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	60	—	73	△73	—
計	34,313	5,764	5,211	45,289	△73	45,215
セグメント利益	447	63	420	930	△628	302

(注) 1 セグメント利益の調整額△628百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△630百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エネルギー」セグメントにおいて9百万円、「ライフスタイル」セグメントにおいて35百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,827	5,710	5,667	44,206	—	44,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24	55	—	79	△79	—
計	32,852	5,766	5,667	44,285	△79	44,206
セグメント利益	534	145	449	1,129	△633	495

(注) 1 セグメント利益の調整額△633百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△635百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エネルギー」セグメントにおいて8百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	616百万円	616百万円
のれんの償却額	137〃	128〃